

オープニングセレモニー特別企画

一般法人化記念 特別講演

「モノづくり・コトづくり・ヒトづくり」

講師： 常盤 文克 氏（花王元会長）

8月1日より(社)実践教育訓練研究協会は一般社団法人 実践教育訓練研究協会として新たな活動を始めました。この輝かしい第1回の記念大会にあたり、これまで日本のものづくりを牽引してまいりました花王元会長の常盤文克様より、新しい日本のモノづくり再興のために氏が提唱される「モノづくり」について、ご講演をいただきます。ものづくり教育に携わる私達にとり大変興味深いご講演であります。

日時 平成25年8月22日（木）
13:30～15:00

場所 関東職業能力開発大学校
視聴覚教室

講師略歴

- ・ 1957年東京理科大学理学部卒業。花王入社。
- ・ 米国スタンフォード大学留学後、大阪大学にて理学博士取得。
- ・ 研究所長、取締役、社長、会長を歴任。
- ・ 現在は三菱地所（株）社外取締役。
特定非営利法人日本モノづくり学会会長。
- ・ 主な著書に、「質の経営論」、「知と経営」（いずれもダイヤモンド社）、「知の経営を深める」（PHP 研究所）、「モノづくりのこころ」、「コトづくりのちから」、「ヒトづくりのおもみ」（いずれも日経 BP 社）、「新・日本的経営を探る」（JMAM）、その他多数。



常盤 文克 氏

講演要旨

モノづくりには、いつも心おどる夢があります。

今、日本のモノづくりは苦境にあり、新しいパラダイムへの転換が求められています。ところが、効率化やコスト削減を求めることばかりで、モノづくりという仕事に携わる誇りや喜びを失いつつあるように感じます。

いつの時代も、人はモノと重なりあって生きています。人はモノなしでは一日たりとも生きて行くことができません。ですから、人の暮らしがある限り、モノづくりは永遠に不滅です。いや、これからも成長・発展し、栄えていく仕事です。

今こそ日本人が歴史の中で培ってきた、よき伝統を掘り起こし、見つめ直して、時代の変化とともに生きて行く、新しい日本のモノづくりを再興する時だと思えます。必要なのは、大きな夢と目標であり、何よりも挑戦する力です。